

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可茂特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月6日(月) 10:00~11:30
- 3 開催場所 可茂特別支援学校東棟会議室
- 4 参加者

会長	板津 幹彦	NPO法人プラス・ワン理事	
副会長	板倉 寿明	愛知淑徳大学非常勤講師	
委員	若尾 真理	可児市こども発達支援センターくれよん所長	
	三好 正司	元公立学校教頭	
	蔵澄 寿磨子	御嵩町あゆみ館施設長	
	丸山 隆	牧野区長	
	板津 厚子	PTA会長(欠席)	
	学校側	高井 繁喜	校長
		村橋 弘	事務部長
		村橋 昌則	教頭
		河原 春恵	教頭
		久保 幸世	小学部主事
		大宮 薫	中学部主事
		八束 功子	高等部主事
	片山 麻紀	教務主任	

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 令和5年度前期の学校運営について

学校 : 令和5年度前期の学校運営(資料)にて説明

意見1 : コロナが一段落し、体験学習ができるようになった。児童生徒の力になっていくと思う。

⇒インフルエンザの流行等学校によっては学年・学級閉鎖等を強いられている現状であるため、今後も感染症対策をとったうえで対応していきたい。

意見2 : この夏の暑さで支援センターでもプールに入るのを戸惑うことがあった。何か対策はされたか。

⇒暑さ指数、水温等に気を配り、暑さ対策や水分補給に気を付けた。また、時間を短くするなどの対策も行った。

意見3 : 各部の取組を聞いて、その時にしかできないことをしっかりされている。小中高その年代に合った体験学習を充実させている。あゆみ館では行事はコロナ前に戻ったが、販売活動においては、お客はなかなか戻ってこない状況である。

意見4 : 体験活動は準備がとても大変だと思うがしっかりやられている。喫茶も2回利用したが、提供される商品も美味しくいただいたが、生徒の接客等取組む姿勢がとても素晴らしかった。

- 意見5：喫茶に感想用紙を置いて、意見を吸い上げるとよいのではないか。  
⇒喫茶において、お客様の要望等聞きながらさらに充実させていきたい。
- 意見6：外国籍の児童生徒が多いがどのように対応されているか。  
⇒ポルトガル語、タガログ語の適応指導員が常駐しているので、連絡帳や電話連絡、懇談時に翻訳をしている。
- 意見7：この地域は岐阜県内でも外国籍の方が多い。日本で就職するならば日本語を覚えてもらうことが大切である。  
⇒困り感のある児童生徒の把握と支援に努めたい。

○令和5年度前期の学校運営については、全委員の理解を得ることができた。

## (2) 学校評価について

学校：令和5年度学校評価の分析結果と課題（資料）にて説明

- 意見1：前年度よりアンケートの回収率がよくなっているが、何か対策をしたか。  
⇒外国籍の方には適応支援員の援助を受けこまめに連絡をしている。また、普段から保護者とのコミュニケーションを意識して取組んだ成果だと思う。
- 意見2：全般に保護者からの評価が良く、信頼関係が構築されているのではないかと。
- 意見3：近隣の方は特別支援学校のことを知らない。地域の広報を利用するなどして情報発信をしていけるとよい。  
⇒喫茶のオープン時に地域の回覧を利用した。今後も当校の取組を知っていただくよう地域へ情報発信をしていきたい。
- 意見4：働き方改革について、具体的にどのような取組をしているか。  
⇒業務改善や業務削減に取り組んでおり、残業時間は減少傾向にある。今年度の具体的な取組としては、火・木曜日以外は大きな会議を入れない、会議のペーパーレス化、男性職員の育児休暇の推進、小学部低学年バスの職員の添乗をなくすなどである。
- 意見5：アンケートの項目によっては「分からない」が多い結果となっている。アンケートの中に、具体的な取組を明記すると分かりやすいものとなるのではないかと。  
⇒保護者が答えやすくなるように、今後アンケートの項目を検討したい。
- 意見6：新型コロナウイルス感染症が5類になったため、保護者から制限をなくした授業参観や行事等を要望する声がある。  
⇒今年度は、学校祭を一般公開で実施する。今後も、感染症の状況を見ながら、保護者の要望に応えられるようにしていきたい。

○学校評価については、全委員の理解を得ることができた。

## (3) 作業製品の販売価格について

学校：令和5年度高等部作業製品の追加分について価格一覧表にて提案

- 意見1：心情的にはもう少し上げてほしいと思う。  
⇒お客様には、生徒にコミュニケーション能力育成の場を提供していただいている。多くの方に購入していただくためにこの価格を設定している。材料費の高騰による影響があれば検討したい。

○作業製品の販売価格については、全委員の理解を得ることができた。

## 6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、前期の学校運営、学校評価、作業製品の販売価格について、全委員の理解を得ることができた。

会長からは、当校の取組を積極的に情報発信するとともに、特別支援学校の良さをアピールしていくとよいなどの意見が出された。

今回の第2回学校運営協議会での意見を、後期の学校運営の改善につなげていく。